

科目名 Course Name	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ Social work exercises (Specialty)Ⅳ				ナンバリング No.	I4-007	
年次	2 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	大熊 信成、吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。又は福祉棟 3 階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	基本的に演習形式で授業を行う。必要に応じて講義も取り入れる。実習でのプロセスレコードを作成する。実習の振り返りを通して、社会福祉研究ノート及び実習報告書を作成し、学内実習報告会で発表する。 ①専門職としての自覚を持ち、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題を明確にし、習得できる。 ②ソーシャルワーカーとして、様々な場面に対応できる能力を持つことができ、それを実践できる。 ③実習を通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解し、発表できる。						
授業の方法	基本的に演習形式で授業を行う。必要に応じて講義も取り入れる。実習の振り返りを通して、実習報告書を作成し、学内実習報告会で発表する。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	専門職としての自覚を持ち、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題を明確にすることができ、習得することができる。					
	L04	ソーシャルワーカーとして、様々な場面に対応できる能力を持つことができ、それを実践することができる。					
課題に対するフィードバック	実習報告書を作成し、添削して各自に返却する。						
教科書／参考図書	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで使用したテキストを使用する。他 授業中に指示する。						
履修上の留意点やルール等	グループ発表や個人発表を行うので、学生の積極的な参加を望みます。他の学生の課題発表は積極的に聞くこと。私語、遅刻、早退は厳禁。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 90 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。			20			
レポート／作品	Ⅱ期実習報告書の内容を評価する。評価Sは、実習テーマにもとづいた実習プログラムの実施、学び得たこと、振り返りをまとめ考察されていること。研究計画書、研究概要書各 10 点で評価する。			50			
発表	実習報告 20%(実習を振り返り、自己覚知がなされている。レジュメを作成し、根拠(エビデンス)に基づき発表している)					30	
小テスト							
試験							

その他					
合 計				70	30

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方、成績評価等)・自己評価表の記入【大熊・吉田】
	事前・事後学習	自己評価表を作成する。
2	授業内容	実習の振り返り:実習記録の見直し、実習報告書の書き方【吉田】
	事前・事後学習	各自、実習の振り返りを行いまとめる。
3	授業内容	実習の振り返り:実習報告会の企画・プレゼンテーションの方法【吉田】
	事前・事後学習	実習報告会の企画についてまとめる。
4	授業内容	実習の振り返り:グループ討議①ブレインストーミング【大熊】
	事前・事後学習	ブレインストーミングについて調べ、ワークシートにまとめる。
5	授業内容	実習の振り返り:グループ討議②ブレインストーミング【大熊】
	事前・事後学習	グループ討議の結果について、各自振り返りを記入する。
6	授業内容	実習の振り返り:グループ発表準備【大熊】
	事前・事後学習	発表の原稿を準備する。
7	授業内容	実習の振り返り:グループ発表【大熊】
	事前・事後学習	発表の振り返りを提出する。
8	授業内容	〈ソーシャルワーク実習後に行うこと〉ソーシャルワークに係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導を行なうこと。①事例研究、事例検討【吉田】
	事前・事後学習	プレゼンテーション資料の提出・報告を行う。各自まとめておく。
9	授業内容	〈ソーシャルワーク実習後に行うこと〉ソーシャルワークに係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導を行なうこと。②スーパービジョン【吉田】
	事前・事後学習	グループスーパービジョンについて振り返りを記入する。
10	授業内容	〈ソーシャルワーク実習後に行うこと〉ソーシャルワークに係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導を行なうこと。③スーパービジョン【吉田】
	事前・事後学習	グループスーパービジョンについて振り返りを記入する。
11	授業内容	〈ソーシャルワーク実習後に行うこと〉ソーシャルワークに係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導を行なうこと。④スーパービジョン【吉田】
	事前・事後学習	実習での事例について振り返りを記入する。
12	授業内容	実習報告会リハーサル【吉田】
	事前・事後学習	各自、原稿や発表準備をおこなう。
13	授業内容	実習報告会 パワーポイントを用いて学内実習報告会を行う。【吉田・大熊】
	事前・事後学習	各自、役割に基づき発表を行い、振り返りを記入する。
14	授業内容	実習報告会の振り返り・実習報告書の提出【吉田】
	事前・事後学習	実習報告会の振り返り・実習報告書の提出のため準備をしておくこと。
15	授業内容	実習の評価・全体総括【吉田】
	事前・事後学習	振り返りをまとめ考察する。